

## 前回の議論を踏まえた今後の論点（たたき台）

## ＜制度の基本的考え方・救済給付＞

- 救済制度の給付内容・水準について、健康被害や療養の程度に見合ったものへと充実すべきではないか。
- 類似の制度の給付内容・水準と比較検討すべきではないか。
- 社会全体による迅速な救済という制度の基本的な枠組みは維持しつつ、その中で最大限の救済を図るとの観点から検討すべきではないか。

## ＜指定疾病＞

- 最近の研究で、びまん性胸膜肥厚の患者のうち、多くの割合で胸水貯留を認めることがわかってきたことを踏まえ、被包化された胸水貯留があつて著しい呼吸機能障害を伴う症例の取扱いについて検討すべきではないか。

## ＜健康管理＞

- 石綿疾患の患者を専門外来・専門窓口につなぐ支援や、震災から数十年経過後の住民の健康不安への対応が必要ではないか。
- 健康管理に係る試行調査において、保健指導を適切に実施するため、専門知識に関する研修を行うべきではないか。その際、高齢の方にしっかり情報が伝わるようなコミュニケーション方法についても考慮が必要ではないか。